

悲劇の木田大時

くまー琉球ぬ王族ぬ眠んじゆる御墓、玉陵。玉陵かいや、王族だけが入る所やいびーしが、王族ぬ血引かん木田大時や、くまんかい眠んと一んで伝一らつと一いびーん。

尚真王ぬ御代、大時んで言る若者ぬをいびーたん。くぬ大時、だて一ぬぬ学問かい優りと一るだけあらん、不思議に、神様と会話する力ぬあいびーたん。うんなある日、皇子様ぬ重さる病かかて、困たる王様や、大時御城んかい呼ばりたん。

王：大時よ、や一不思議な力し、くぬ子、治ちとらさんがや。

大時：えい！やっ！やな風邪、出じていけー！

皇子様ぬ顔色、だて一ぬ益しないびたん。

王：ん一、くれ一見事！りーじ言ん。大時よ、くりから一我つ達側んかい居てとらし。

大時や、首里んかいまぎさる屋敷頂ち、王様と琉球ぬたみ働らちやびたん。やしが、御城かいや、くぬ大時ぬくと、に一たさる男ぬ達ぬ居いびーたん。

男 A：王様、大時んかいや神通力やねーやびらん。

男 B：皇子様ぬ御病気や、あぬとち既に治いがたーやいびーる。

男 C：今一、うまんちゆんからんうむさたさる大時、くぬままそ一ち一ね一、くぬ琉球手ぬ内んかい入りやびーん。

やて、いゆいゆ王様ぬ衆様ぬ前をて、大時ぬ神通力試するくとにないびたん。

王：大時よ、や一くりまでぬ神通力や、ゆくしんで言る噂ぬ聞かり一しが？

大時：王様、我んね一ゆくしえ一言ちえ一をいびらん。真だる人ぬ道。ゆくしぬね一らんまと一ばやいね一、真ぬ姿ぬ見一て、来んで思と一いびーん。

王：命掛けてやん？

大時：さり、くぬ命に掛けて。

王：あんしえ一、くぬ木ぬ箱ぬ中んかいや、何ぬ入ちよ一が。

大時：さり、王様、くぬ木ぬ箱ぬ中んかいや、鼠ぬ三ち入つちよ一いびーん。

王：大時、くぬ箱ね一、我一が鼠一ち入つて、しかと縄し括んちやん。かわらん、や一神通力やゆくしやてやさ一。

大時：ゆくしえ一言ちえ一をいびらん。箱ぬ中ね一、三ちぬ鼠ぬ入つちよ一いびーん。

王：え一！約束通い大時、打ち首！

うぬ時、

王：うっ！くれ一！箱ぬなかをて、子なて、鼠ぬ三ち！